



鶏肉とアスパラの  
みそいため

●今回のレシピ紹介は  
「矢高共同調理場」です

小学校6校と中学校2校の約4100人分の給食を栄養士4人と調理員26人で作っています。出来るだけ手作りの安心安全でおいしく愛情いっぱいの給食作りをしています。

## おいしいね レシピの紹介

揚げた鶏肉とゆでたアスパラを甘辛のみそだれで和えます。ご飯のすすむメニューです。みそを使った甘辛のたれでアスパラもパクパク食べられ子どもたちにも人気のメニューです。季節に合わせて他の野菜にしてもおいしいです。ぜひお試しください。

### 作り方

- ①鶏肉は酒・塩で下味をつける。
- ②①に片栗粉をつけて油で揚げる。
- ③アスパラは2～3cmに切り、ゆでる。
- ④玉ねぎは0.5cm幅に切る。
- ⑤鍋に④とAをいれ、玉ねぎに火を通す。
- ⑥⑤に揚げた鶏肉・アスパラをからめる。

### 材料 (4人分)

鶏もも肉 (皮なし)	160g
塩	0.8g
酒	4.8g
片栗粉	8g
揚げ油	適量
アスパラ	3～4本
玉ねぎ	1/2玉
みそ	大さじ1
水	大さじ3
みりん	小さじ1
砂糖	小さじ2

## 耳寄り情報

### 第33回 飯田やまびこマーチ

～花と緑と陽光の中を 手作りのおむすびを持って家族で歩こう～

期日 4月27日(土)・28日(日) 会場 飯田市中央公園(主会場)

PTAコース(6キロ)にご参加ください

4月27日(土) PTA出発式10:00～ PTA出発10:15～  
中央公園を出発し、かざこし子どもの森公園で昼食をとりながら  
飯田市街地を歩くコースとなっています。

申込は  
各学校へ



## コミュニティスクールはこれからの時代の「群れ」と成る

私たちは、生物学でいうと「ホモ・サピエンス」と呼ばれる種族です。大人になるまで10数年の長い期間「子育て」を必要とする、他に例を見ない特異な存在です。この長期に渡る子育てを、母親だけではなく「群れ」全体で行うことで、種族として生き残り、繁栄をしてきました。

ところが、現在は核家族化が進み、また地域の結びつきが弱くなったことで「群れ」が解体され、母親が、経済的にも精神的にも孤立する傾向が強くなっています。昨今の育児や教育に関わる諸問題は、私たちが長い進化の中で獲得してきた「群れで育てる」という生存戦略を、放棄しかけていることと無縁ではありません。

「時計の針をもとに戻す」ではありません。これからの時代に向けて、かつての「群れ」、すなわち「コミュニティ」を、学校を中心として再生していくのです。「飯田コミュニティスクール」は、こうした流れを加速させる仕組みであり、今、地域と学校が協働した活動が、同時多発的に始まっています。

さあ、みんなで群れになって、子どもたちをはぐ(Hagu)くんでいきませんか。



## 結和

コラム



飯田市教育長  
代田 昭久

### 表紙写真

長野県市町村広報コンクール最優秀賞  
「飯田型キャリア教育」より抜粋

HAGU

2019.3  
vol.7

7

飯田市教育委員会がお届けする子どもをはぐ(Hagu)くむ情報誌

2019年3月8日発行 飯田市教育委員会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2334 ☎026-233-4511



# HAGU

飯田市教育委員会  
がお届けする  
子どもを  
はぐくむ情報誌

7 2019.3  
vol.7

飯田市  
教育ビジョン  
地育力による  
未来をひらく  
心豊かな人づくり

平成30年度 長野県市町村広報コンクール  
映像の部 最優秀賞受賞!

「飯田型キャリア教育」  
飯田市の広報番組「テレビ広報～市民の皆さんへ～」11月号で制作したキャリア教育をテーマにした番組。中学2年生の職場体験に密着取材し、飯田市が取り組む「飯田型キャリア教育」について解説しています。  
映像は各中学校にあるDVDにてご覧いただけます!

【Hagu(はぐ)】「育む」と「ハグする(抱きしめる)」をかけた造語です

# 市内28校コミュニティスクールの活動一覧

こんな活動をしています

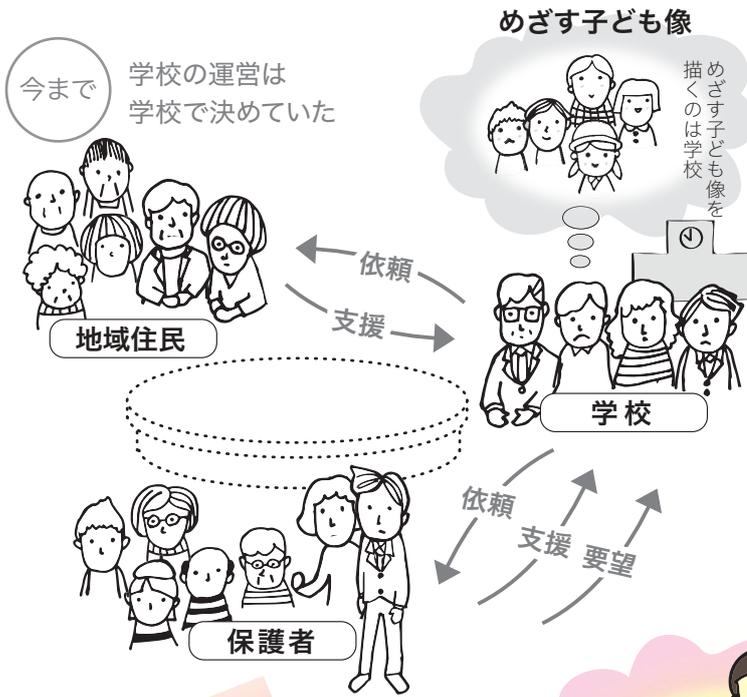
保護者の皆さんの参画をお待ちしています

学校名	めざす子ども像	家庭ですること 地域ですること	『コミュニティスクールの特徴』 ・ 【おもな学校支援ボランティア】
明るいかざこしの子らを育てる会 (丸山小・飯田西中)	「確かな学力」「豊かな人間性」「健康体力」	○子どもと一緒に関わる時間を増やす ○家庭内での遊び(テレビやゲーム)のルールづくり ○子どもたちにあいさつをしたり声をかけたりする ○いけないことは地域全体で注意する	『年2回「明るいかざこしの子らを育てる会(約60名)」で情報交換・学校運営協議会通信の発行・学校運営協議会委員が小中合同職員研修会に参加など』『あいさつ運動(共通アクション)・登下校見守り・探鳥会・地域学習講師・かざこし登山ガイド・青空スクール・放課後学習指導・栽培支援など』
追手町小 コミュニティスクール	「丘の上」に愛着をもち、自主・愛他の精神に満ちた子ども	○おはよう・いってらっしゃい・おかえり等の声かけ ○たくさん会話する ○家庭学習の見守り・見とどけ ○挨拶を交わし合う地域作り ○子どもの安全見守り・声かけ ○ふるさと学習への協力・参加	『地域・保護者の方々と結成された応援隊とその他公民館を中心に多くの方々による学校行事への参加・応援。各応援代表者と学校運営協議会を合同開催【安全見守り隊・学校行事応援隊・環境整備隊・クラブ応援隊・読み聞かせ隊・学習・家庭支援隊・グリーンボランティア】
浜井場小 コミュニティスクール	「丘の上」に愛着をもち、自主・愛他の精神に満ちた子ども	○絆 ○親子のコミュニケーション ○挨拶・会話・体験・読書 ○見守り・つながり ○あいさつ・声掛け	『地域学習の一環で「はまっ子クラブ」では地域の方を講師にお招きし、協議会委員には、定例会だけでなく、各学校行事に参加』 【クラブ講師・学習支援(書写、音楽、地域学習)・交通安全教室・毎日の登校見守り・読み聞かせ・和菓子作り体験など】
座光寺小 コミュニティスクール	もとめる子 つながる子 きたえる子	○家庭での学習支援 ○明るいあいさつと場にに応じた言葉遣い ○子どもができる手伝いの実践と地域行事への積極的参加 ○どの子にもあいさつ、声かけ、見守り ○地域行事や農作業への参加の推奨 ○学校の授業、行事等への積極的な参加	『保護者・地域の方・学校職員が、子ども達を取り巻く現状や願う子どもの姿を車座になって語り合う「座光寺の子どもを語る会(約50名)」・学校運営協議会通信の発行』『麻績楽農隊(農作業支援)子ども見守り隊・家庭科支援・読み聞かせボランティア・クラブ活動支援など』
松尾小 コミュニティスクール	ふるさと「松尾」に誇りをもち、「松尾」を愛せる子	○「早寝・早起き・朝ご飯」の徹底 ○挨拶・返事のできる子の推進 ○学校や地域の子どもへ、積極的な関わり	『「松尾の子は松尾で育てる」の理念のもと、学校への地域・PTAの協力体制が整っている【各種ボランティア(クラブボ、読書・ミシン・短大生による休み時間の遊び・米作り・登下校の見守り)・松尾地区財産区有林見学・出前科学実験教室・水引体験教室・オリンピック選手とスポーツをしよう・松尾地区教育懇談会』
下久堅小 コミュニティスクール	主体的に学び、思いやりを持った、心身ともにたくましい子ども	○登下校は徒歩で ○あいさつ・返事・靴揃え等、学校と連携して指導 ○PTA「子育て部」による家庭教育の啓発 ○ふるさと学習に積極的に参画 ○「下久堅こども応援隊」「放課後子ども教室」 ○地域での見守り	『地域に関われ、地域とともに歩む学校をめざし「下久堅こども応援隊」とともに、子どもを育て地域を元気にする。』『読み聞かせ(お話サークル)・紙すき作品制作(ひさかた和紙保存会)・梶川輪の桜(花ふぶき会)・米作り(子丑会)・登下校見守り、交通安全指導・宿泊体験学習支援(農業宿泊体験学習受け入れ)』
上久堅小 コミュニティスクール	自ら考え、進んで行動できるたくましい子ども ふるさとを だいにできる心豊かな子ども	○子ども達に積極的に話しかけ、コミュニケーションをとる ○子ども達の学校生活を支え、子ども達に寄り添い、安全を見守る	『学校運営協議会委員には諸行事に参加していただき、その都度励ましの言葉やご意見をいただく。』『クラブ活動・読み聞かせ・社会科地域素材(小野子人参・りんご栽培等)提供・米作り・絵手紙づくり・人形劇方言版づくり・生活科支援・総合的な学習の時間支援』
千代っ子応援団 (千代小)	自ら考え、進んで表現する子 ふるさとを愛する子	○大人から明るい挨拶 ○お手伝いの機会と工夫する場面づくり ○読み聞かせや一緒に読書 ○大人からどの子にも挨拶 ○地域行事に子どもの役割と進んで関わる環境づくり	『千代に愛着と誇りをもつ子どもを育てるために、豊かな自然と人から学ぶ体験活動の充実。』『善意の川清掃・よこね田んぼ・炭焼き・読み聞かせ・地域を知る授業・森林等環境整備・クラブ活動など』
千栄小 コミュニティスクール	語り合い追究し合う子ども ふるさとに学びふるさとを誇りに 思う心豊かな子ども 身も心も汗まみれ泥まみれになる子ども	○基本的な生活リズムの定着 ○家庭学習 ○読書習慣 ○家事分担 ○児童の登下校の見守り ○挨拶運動 ○読み聞かせ ○お祭りやどんど焼きなどの地区行事	『授業参観に来校していただき意見交換。音楽会と学習発表会を参観後に会合。地区常会で学校の様子を語ってもらう。』『登下校の見守り、読み聞かせ、学友林やピオトープの美化作業、マラソン大会の交通整理、安全教室の指導、クラブ活動指導』
龍江小 コミュニティスクール	ふるさと龍江を愛し、自ら考え、たくましく生きる子 ～つながる学び つながるなまこ つながる地域～	○「わが家の結びタイム」実践 ○大人からの積極的なあいさつ ○大人からの積極的なあいさつ・声かけ ○学校行事授業への積極的支援	『学校への支援を通じて、龍江の子どもたちに龍江の良さを感じてもらい、ふるさとを愛する心を育む活動を展開する』 【お助け隊(授業支援)・地域クラブ講師・サポート隊(登下校見守り)・学校りんご園後援会・民生児童委員会など】
竜丘小 コミュニティスクール	かしく 心ゆたかな たくましい 丘の子	○親子で活動する機会を増やそう ○笑顔のあいさつを自分から ○地域の子どものことについて語り合う ○安全と成長を見守り、あいさつを交わす ○地域での学びをつくる	『3つの【あ】(あいさつ・あたたかい言葉・あんぜん)を学校・地域・保護者が一体となって育てる・学校職員とサポーターとの交流会』 【ぶらきよる隊・竜丘自由学校・丘のみちしるべ探索・竜丘古墳の会・丘の子YOU遊・鷲流峡復活プロジェクト・あぐりの田んぼ』
川路っ子応援団 (川路小)	からだを鍛え、わを作り、じぶんを高める「かわじの子」	○学校運営・PTA活動への理解と協力 ○基本的生活習慣の確立 ○家庭学習への協力 ○見守り活動の推進 ○クラブ・総合学習への支援 ○「川路っ子応援団」の充実	『学校運営協議会の実施(年3回)、授業公開・音楽会・運動会・クラブ活動への参観、川路地区通学舎への協力。』『子ども守り隊(あいさつ運動、100m見送り運動の推進、クラブ・総合学習講師、低学年風作り、蚕の飼ひ方・コサージュづくり(6年)、学友林など)』
三穂小 コミュニティスクール	ふるさと三穂に誇りをもち 自分で考え たくましく生きる 子ども	○「親子の約束の徹底」 ○挨拶などの声かけ ○宿題の見とどけ ○挨拶の声かけ ○児童の安全のための支援 ○学校支援による児童の健全育成	『みほっ子応援隊を中心とする学校支援ボランティア(46名)による学校支援【登下校の見守り、通学路の安全点検、交通安全教室での指導、マラソン大会道路監視員、クラブ指導、人形劇指導、万次郎かぼちゃ・大豆・スイートコーンなど畑作指導、農業宿泊体験学習の受け入れ、読み聞かせ、みどりの少年団指導、学校施設環境整備作業、ふるさとめぐり三穂の講師、命の授業講師など】
キッズ山本コミュニティスクール (山本小)	自立した学習者として育つ 市民社会の一員として育つ 夢・志に向かって育つ	○健全な心と体づくり ○ネットモラルの確立 ○PTA活動の充実 ○学校活動への協力 ○夏祭り・音楽フェスタの運営 ○安心・安全の活動 ○地域の活動との連携	『従来の「キッズ山本大作戦」をベースに、組織の調整を行い「キッズ山本コミュニティスクール」にリニューアルします。』 【6年生放課後学習・あいさつ・見守り活動・環境整備・花の木オープンスクール講師・読み聞かせボランティア・米、野菜づくり】
笠松運営協議会 (伊賀良小)	清き心と活力に満ちた「いがらっ子」 智・徳・体のバラン スのとれた人間形成	○第三日曜日はノーネットデイ、子供と一緒に過ごします ○歩いて登校 ○挨拶向上 ○ふるさと学習に支援ボランティアなど人材面で参画 ○パトロールなど安全確保	『豊富な地域人材に支えられた多彩な活動。(ふるさと学習支援、PTAと連携した「伊賀良ミニキャンプ」、挨拶やパトロールなど安心・安全につながる活動、学校の環境整備など)』『読み聞かせ、ふるさと学習、挨拶運動、安全パトロール、環境整備』
鼎小・鼎中 コミュニティスクール	みんなとつながり、鼎に生きる誇りを持てる人 ～自ら考え、実践～	○子どもの良さに目を向け勇気づける ○学習習慣確立と積み上げ ○生活管理と学習環境づくり ○鼎に住む子どもと関わり、地域が一体となって鼎の子どもを育てる	『地域、家庭、学校の協働による学びを大切に、鼎地区に住む子どもも大人も多くの人と関わり、共に育つことを目指します。』 【小中合同あいさつ運動、鼎の子どもを語る会、クラブ活動(小)、総合的な学習支援(小中)地域交流学習(中)、放課後補習教室(中)】
上郷の子どもを育む会 (上郷小)	「みやましい子」ふるさと上郷に誇りを持つ子(H31変更 予定)	○進んであいさつの声かけをする ○コミュニケーション力を高める ○子どもを見守り、声かけをする ○地域のあたたかさを伝える。	『年3回の学校運営協議会での情報交換、学習支援』『上郷チャレンジ(地域講師によるクラブ活動)・人形づくりサポート・家庭科ミシンボランティア・野底山臨地学習講師(野底山や上郷の歴史学習・自然探索)・上郷の歴史講話・社会科井水学習講師』
かみむらっこ応援団 (上村小)	郷土を愛し、社会の一員として、自立した生活ができる子ども	○家庭学習の習慣化 ○基本的生活習慣の確立(忘れ物0、早寝・早起き・朝ごはん) ○小規模特認校・中山間地モデル校としての環境整備(放課後見守り事業の運営、Facebookの更新等)	『小規模特認校に関わる学校説明会や体験入学に計画段階から参画し、地域で協力していく』『読み聞かせ 農業体験支援 伝統文化継承支援 プール清掃支援 PTA作業支援 運動会、音楽会(しゃくなげ合唱団)への協力 等』
和田っ子応援隊 (和田小)	郷土を愛し、社会の一員として、自立した生活ができる子ども	○家庭での子どものしつけ(早寝・早起き・朝ごはん、あいさつ・会釈・感謝) ○地域での子どもの支援・見守り ○活気ある住みよい地域づくり	『年3回の学校運営協議会で計画、見直し、振り返りを行っている。クラブや生活・総合的な学習の時間の発表会で地域や保護者の方に成果を発表』『霜月祭り・藤曼織り等のクラブ地域講師や米作り等地域特産、学習ボランティア、読み聞かせ等の学習支援』
飯田東中学校協力者会議 (飯田東中)	聡明(かしこさ) 自主(たくましさ) 愛他(やさしさ)	○PTA活動や学校行事に協力する ○心身の健康を育む ○挨拶をして見守る ○りんご並木作業に協力する	『長年続いてきた飯田東中学校協力者会議が発展。学校運営協議会委員が小中合同職員研修に参加。地域の運動会や文化祭に中学生が参加など』『りんご並木活動の支援(摘果、除草、収穫、剪定等)、学習支援(朝学習、英語授業、木工教室、合唱指導)など』
緑ヶ丘中 コミュニティスクール	ふるさとを愛し、豊かな心と夢に向かってたくましく生きる力 をもった子どもの育成	○家庭での「あいさつ・会話・手伝い」の実践 ○SNS利用の約束づくり ○子どもが参画できる魅力的な地区行事の実施 ○花まるボランティア(放課後学習支援)参加	『～地域はもう一つの教室～ 毎月1回の主任児童委員との懇談会 毎月1回の公民館主事との定例会→地域生活の情報交換・地域行事への参画』『花まるボランティア(放課後学習支援) 読み聞かせボランティア みどりの時間の地域講師など』
竜東中 コミュニティスクール	自ら考え、進んで行動できるたくましい子ども ふるさとをだいにできる心豊かな子ども	○挨拶 ○会話 ○早寝早起き朝ご飯 ○生活のリズムづくり ○家族の一員として行動 ○登下校時の見守り ○挨拶 ○参加しやすい地域行事づくり ○支援ボランティア	『家庭・地域とのふれ合いを大切に、活動費補助、体験的なふるさと学習から地域の魅力を学ぶ、地域行事への参加・参画。』『登下校時の見守り・あいさつ、「ふるさと竜東の集い」への参画、運動会や地区懇談会企画、書写講師、部活動ボランティア』
竜峡中 コミュニティスクール	ふるさと竜峡を愛し、自ら考え、たくましく生きる子ども	○基本的生活習慣づくり ○家庭学習の習慣化 ○ゲーム・スマホ等のルールづくり ○豊富な対話 ○基本的生活習慣づくり ○地域行事の企画と参加への呼びかけ、指導 ○児童・生徒、家庭への理解 ○あらゆる機会を通じた地域での児童・生徒の育成	『年5回学校運営協議会開催(活発な意見交換)、地域の方を講師にパワーアップ竜峡塾やいきいき竜峡講座等々を企画運営広報活動も行う』『3つの支援委員会(「学力向上支援委員会」「心豊かな人づくり支援委員会」「地域・学校連携支援委員会)』
旭ヶ丘中 コミュニティスクール	自立した学習者として育つ 市民社会の一員として育つ 夢・志に向かって育つ	○『「スマホ・ケイタイ及びSNS利用」に関わる旭中PTA申し合わせ』の遵守 ○あいさつを交わすことから始まる生徒との繋がりがづくり	『伊賀良・山本両地域の運動会への参画と両地域文化祭やキャンプへの生徒の参加、スポーツ文化活動運営協議会(年2回)での部活動の理念共有、SNS合同研修会への参加、健全育成連絡会(年1回)での情報交換など』『あいさつ運動、旭ファーム支援、ふるさと学習支援、社会体育指導者によるスポーツ・音楽支援』
高陵中 コミュニティスクール	自ら考え、行動できるこども 違いを受け入れ、共に生きる こども ふるさとを愛し、ふるさとを拓くこども	○基本的生活習慣の定着 ○親子で地域行事への参加 ○ゲーム・スマホ等のルールづくり ○家庭学習の習慣化 ○基本的生活習慣の定着 ○子どもたちを認め、ほめる ○こどもの見守り ○こどもを取り巻く環境整備	『放課後学習会、中学生の地域の運動会への参加、黒田人形』『放課後学習会、サマースクール学習支援(総合)、郷土を育む支援』
遠山中 コミュニティスクール	切磋琢磨(粘り強く考え合い、行動する生徒) 明朗誠実(共に明るく 誠実な生徒) 郷土敬愛(郷土に学び、郷土を愛する生徒)	○家庭のしつけ(挨拶・生活習慣の確立、お手伝い・家庭学習、情報機器管理) ○協力連携・PTA活動 ○しつけと支援(挨拶、安全見守り、継承者育成) ○学校運営協議会 ○地域活動支援 ○環境安全支援	『自然体験、伝統文化継承に関わる行事や学習に、保存会等の専門家をはじめ地域をあげての支援をして頂いている。』『郷土の舞(霜月の舞)の指導、学有林学習支援、登山の引率、地域の方に学ぶ会講師、校庭草取りなど学校環境整備等の支援』

# すべての子どもたちが輝く学校を地域ぐるみでつくります！

善い地域が善い学校をつくり、  
善い学校が善い地域をつくる

「支援」「協力」だけでなく、学校運営に「参画」「協働」を



飯田市では、平成28年度末より、市内全28校で「飯田コミュニティスクール」が立ち上がりました。これは、「学校運営協議会」を開いて、学校、地域、保護者が、同じテーブルに座り、「めざす子ども像」や、「学校ですること」「地域ですること」「家庭ですること」の目標を定めて、より多くの地域住民や保護者の方々が、学校と「協働」して、子どもたちを育てていく仕組みです。

ここ飯田の地域は、昔から、学校と地域の結びつきが強く、学校に「協力」したり「支援」をしたりすることは、日常的に行われていました。しかし、時代の変化の中で、学校がかつてないほど多忙になり、地域も高齢化や若者の流出が進んでいます。そこで、学校の運営を学校だけで考えるのではなく、地域や保護者が、積極的に学校の運営に「参画」していくことで、より心豊かな子どもたちを育てていきたいと考えています。

これから

学校の運営は地域や保護者が参画して決める



## 飯田コミュニティスクールの概念図



© 飯田市教育委員会

### 飯田コミュニティスクールの3つの特徴

- ① 相互の承認・評価
  - ・「めざす子ども像」にむけて学校運営の基本的な方針を、「地域」「保護者」の代表が承認し、同時に「地域ですること」「保護者ですること」を、相互に承認し合います。
  - ・年度末には相互に評価し合います。
- ② 学校への支援
  - 学校支援ボランティアなどを組織化し、継続的、計画的に学校の教育活動を支援、応援します。
- ③ 公民館によるコーディネート
  - 公民館長、もしくは主事が学校運営協議会の委員となり、コーディネーター役となって、学校・保護者・地域を繋いでいきます。

PICK UP!

# 特色ある飯田コミュニティスクールの取り組みを紹介します

## 鼎小・中学校

めざす子ども像

みんなとつながり、鼎に生きる誇りを  
持てる人 ～自ら考え、実践～

### 特徴

小学校区と中学校区が一貫した  
地域で多くの人と関わり、共に  
学び共に育つことを目指します。

### 家庭ですること

子どもの良さに目を向け勇気づ  
ける / 学習習慣確立と積み上げ /  
生活管理と学習環境づくり

### 地域ですること

鼎に住む子どもと関わり、地  
域が一体となって鼎の子ども  
を育てる

### ●保護者、学校、地域で「鼎の子どもを語る会」

鼎地区の保護者、学校職員、地域の皆さんが一同に会し、「鼎の子どもの今そして未来」について語り合いました。地域の方との関わりから多くのことを学び、成長した子どもたちの姿をもとに、子どもたちに願う「育ち」について意見交換しました。



### ●通学路緊急安全点検

6月の地震によるブロック塀倒壊事故を受けて実施した、小中学生通学路の緊急安全点検は学校運営協議会が中心となり、鼎まちづくり委員会・子どもを育む委員会の方、PTA役員・保護者、学校職員で協力して行いました。



### ●中学3年生の放課後補習教室

今年度初めての取り組みとして中学3年生の放課後補習教室を開校しました。指導していただく方は学校支援ボランティアの皆様です。11月から教室がスタートし、生徒たちは志望高校合格を目指して意欲的に取り組んでいます。



### ●小中PTAと公民館合同での講演会を実施

県青少年赤十字指導者協議会顧問の原英正先生を講師に、防災教育プログラム「まもるいのちひろめるぼうさい」を行いました。小6児童も参加し、保護者や地域の方々とともに、災害に対する備えについて考える貴重な機会となりました。



## 松尾小学校

めざす子ども像

ふるさと「松尾」に誇りをもち、  
「松尾」を愛せる子

### 特徴

「松尾の子は松尾で育てる」の  
理念のもと、学校への地域・P  
TAの協力体制が整っています。

### 家庭ですること

「早寝・早起き・朝ご飯」の徹底、  
挨拶・返事のできる子の推進

### 地域ですること

学校や地域の子どもへ、積極  
的な関わり

### ●クラブボランティア

49名の地域の方にクラブボランティアとして参加していただきました。専門的な技能や知識を持っている地域の方々に教えていただくことで、学習や活動が深まり、子どもたちは意欲的となり、知識や技能を高めることができました。



### ●オリンピック選手とスポーツをしよう

7月19日(木)に、夏と冬のオリンピックに出場し、元100m日本記録保持者の青戸慎司先生(中京大学)をお迎えして「速く走るコツ」を教えてもらいました。コツを教えていただき、飯田病院陸上部の本物の走りを目の当たりにした子どもたちは大感激でした。



### ●松尾地区教育懇談会

8月20日(月)に、地域・PTA・学校の三者で懇談しました。今年も参加者が100名を越え、7グループに分かれ、松尾の子どもたちの「あいさつ」「地域とのつながり」がより高まるように、私たちができること、しなければならぬことを話し合いました。



### ●ミシンボランティア

5・6年生の家庭科学習で扱うミシン学習の時期に合わせて実施しました。毎時間5〜8人のボランティアの方に、個別支援を行っていただきました。ミシントラブルが発生してもすぐに対処してくださり、効率的に学習、実習が進みました。



他のコミュニティスクールでも、地域と協働した活動が活発に始まっています!